令和4年度 事務事業評価表 (令和3年度実績)

事務事業名		業名	広聴事業費					担当所属 市	民の声を聞く課					
基	分野 9都市経営						事業期間	令和2年度 ~						
本情	基本施策 2 適正かつ透明な行政運営の推進						会計種別							
報	推進	推進施策 4 広報広聴の充実					実施計画		総合戦略					
	対	力 象	市民及び本市に関	けかを持つ人) を持つ人									
事業	意	図	まちづくりに対する市	市民の意思を幅広く聴取し、市民の声を活かしたまちづくりを推進していくとともに、市民と行政が相互に理解し合える市政の実現を図る。										
概要	成	,果	市民の声を広く聴り	聴取し、事業の改善や市政への反映が図られる。										
	手	段	まちづくり提言制度	ちづくり提言制度の充実 市長と市民が語り合う懇談会の開催 広報・ホームページ等を活用した市民アンケートの実施										
				指標名		単位	H31年度実績	R2年度実績	績 R3年度実績 R4年度見					
指	活動指標		広聴事業の啓発	回数	目標値		0	12	12	12				
標					実績値		0	10	11					
					ノマリスを旧二		U	10	11	-				
					目標達成度	%	-	83.3	91.7	-				
			(単位:千円)	平成30年度決算		<u></u>	- 2 年度 決算	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和	- 4年度 予算				
		タルコス		0	目標達成度	ー % は算 令和 2 0	- 2 年度 決算 21,665	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290	- 4年度予算 12,191				
		事業費	(F	0	目標達成度	% 算 令和 2 0	- 2 年度 決算 21,665 200	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290 149	- 4年度予算 12,191 258				
		事業費	国庫支出金	0 0 0	目標達成度	% 2算 令和 2 0 0	- 2 年度 決算 21,665 200 0	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290 149 0	- 4年度予算 12,191 258 0				
		事業費 特 リ	ル 国庫支出金 県支出金	0 0 0 0	目標達成度	% 第 令和 2 0 0 0 0	- 2 年度 決算 21,665 200 0	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290 149 0	- 4年度予算 12,191 258 0 0				
		事業費 特定 は	下 国庫支出金 県支出金 也方債	0 0 0 0 0	目標達成度	ッ 第 令和2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	- 2年度 決算 21,665 200 0 0	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0	- 4年度予算 12,191 258 0 0				
ス		事業 特定財源	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担	0 0 0 0 0 0	目標達成度	一 % 第 令和 2 0 0 0 0 0 0	2 年度 決算 21,665 200 0 0 0	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0	- 4年度 予算 12,191 258 0 0 0				
		事業 特定財源	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他	0 0 0 0 0 0	目標達成度	一	2年度 決算 21,665 200 0 0 0 0	83.3 令和3年度	91.7 決算 	- 4年度 予算 12,191 258 0 0 0 0 0				
ス	I IIII	事業 特定財源 一般	ト 国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 財財源	0 0 0 0 0 0 0	目標達成度	一	2年度 決算 21,665 200 0 0 0 0 0 0	83.3 令和3年度	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0 0 0 149	- 4年度 予算 12,191 258 0 0 0 0 0 258				
ス	I IIII	事業 特定財源 一般代表 化	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 財源 合計	0 0 0 0 0 0 0 0	目標達成度	の の の の の の の の の の の の の の	2年度 決算 21,665 200 0 0 0 0 0 0 200 21,465	83.3 令和3年度 13	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0 0 0 149 3,141	- 4年度 予算 12,191 258 0 0 0 0 0 258 11,933				
ス	I IIII	事業 特定財源 一件正明 人	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 財源 合計	0 0 0 0 0 0 0	目標達成度	一	2年度 決算 21,665 200 0 0 0 0 0 0	83.3 令和3年度 13	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0 0 0 149	- 4年度 予算 12,191 258 0 0 0 0 0 258				
ス	I IIII	事業 特定財源 一件正正	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他 財源 合計	0 0 0 0 0 0 0 0	目標達成度	一	21,665 200 0 0 0 0 0 0 200 21,465 21,465	83.3 令和3年度 13	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0 0 0 149 3,141 3,141	- 4年度予算 12,191 258 0 0 0 0 0 258 11,933 11,933				
スト	正職	事業 特定財源 一件正正(長	国庫支出金 製支出金 地方債 受益者負担 その他 製財源 合計 設員 設員以外 (業費集計済分) (人)	0 0 0 0 0 0 0 0 0	目標達成度	の の の の の の の の の の の の の の	21,665 200 0 0 0 0 0 0 200 21,465 21,465	83.3 令和3年度 13	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0 0 0 149 3,141 3,141	- 4年度予算 12,191 258 0 0 0 0 0 258 11,933 11,933				
スト	正職	事業 特定財源一件 工工 人 人	国庫支出金 限支出金 地方債 受益者負担 その他 財源 合計 議員 議員以外 「業費集計済分) (人)	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	目標達成度 平成 3 1 年度 決	の の の の の の の の の の の の の の	21,665 200 0 0 0 0 0 0 200 21,465 21,465 0 (0)	83.3 令和3年度 13 13	91.7 決算 令和 3,290 149 0 0 0 0 149 3,141 3,141 0 (0)	- 4年度 予算 12,191 258 0 0 0 0 0 258 11,933 11,933 0 (0)				

市民に寄り添い、市民の声を聞き、市民と分かり合える市政の実現を図るため、令和2年度、新たに市民の声を聞く課を創設し、より広く市民の皆様の声をお聞きするための環境を整えた。

現状の周辺環境

辺

環

市民の声をしっかり伺い、市民との協働によるまちづくりを推進することが重要である。

境 今後の予想される周辺環境

今後も、市民と協働によるまちづくりが不可欠であり、市民と分かり合える市政の実現を進める必要がある。

	評価項目			評価	評価の理由			
	妥_	1. 市の関	与(税金支出)	A	市民の意見や提案を幅広く聴取するため、制度について市民への周知・啓発に取り組む必要が			
	女当性	2. 事務事	業の目的(対象・意図)	Α	<i>ნ</i> ანა			
	性	3. 事務事	業の目標(活動指標等)	В				
	_	4. 計画の	実施状況	В	広聴事業について広報紙やホームページを活用して周知及び啓発を図った。市長と語るまちづく			
	有効性	5. 目標(目標(活動指標等)の達成度		り懇談会は、コロナ禍の影響もあり、地域での開催は見合わせることになった。			
評		6. 上位施	策への貢献度	А				
価		7. 事業成	果の向上へのさらなる取組	ን B				
	効	8. コスト削	減へのさらなる取組み	A	より多くの市民の意見や意識を把握することができるよう、実施方法について今後も検討する必			
	率	9. 類似事業との統合・代替の検討			要がある。			
	性	10. これま	での実施手段	В				
	総	市民	の声を活かしたまちづくりを進め、	市民と行政が相互は	理解し合える市政の実現を図るため、市民への広聴事業の周知や実施方法などの検討を進め			
	合	B 3.						
	今後	今後の実施方向性維持		今後も継続して市民の意見を積極的に聴取し、関係部署と連携のうえ市政への反映に努める。				
改	成果	!方向性	成果維持					
革			コスト維持					

と 改革効果(どのような効果が期待できるか)

今後も事業を継続して実施することで、市民の意見や意識を把握することができ、市民と分かり合える市政の実現が可能となる。

	1=	1 - 7 /	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	来可									
事	務事	業名	市民参画技	進事業費				担当所属	市民の声を聞く	課			
基	分	野	9都市経営			事業期間	平成194	宇度 ~					
本情	基	本施策	2 適正かつ透明	明な行政運営の推進	会計種別								
報	推	進施策 5 市民参画の推進					実施計画		総合戦略				
			市内に住む人、働	市内に住む人、働く人、学ぶ人及び市内に事務所又は事業所を有するもの									
	7	寸 象											
			市民参画条例の実	ミ効性を高め、市民の市政へ	の参画を促進する。								
事業	Ā	区											
概				市民参画条例の実効性を高めることで、市民の市政への参画が促進され、市民と協働によるまちづくりが推進される。市職員を対象とした研修を計画的に実									
要	Б	龙 果	施することで、市民参画の視点を持ち、市民の意見・提言を市の取組に展開できる職員の育成が図られる。										
			審議会、パブリック	コメント等の実施など、市民参	画について広く市民、	職員に周知しす	「民と協働によるま	ちづくりを推進す	<u></u> る。				
	Ē	F 段											
				指標名		単位	H31年度実績	R2年度実績	間R3年度実	績 R4年度見込			
指	 .	*1 TK T#	市民参画の啓発回数		目標値		2	2	5	15			
標	活	動指標			実績値		3	2	18	-			
					目標達成度	%	150.0	100.0	360.0	-			
	1		(単位:千円)	平成30年度決算	平成31年度湯	算 令和 2	2年度 決算	令和3年度	決算令	和4年度 予算			
	トータルコス		くト	2,206	1,3		2,000		6,350	6,369			
		事業費		370		261			312	474			
		134	国庫支出金			0	0	0		0			
_	財源		県支出金 	0		0	0	0		0			
			也方債			0	0 0			0			
ス・			受益者負担	0	0					0			
١			その他	0	0 261		0		0	0			
	一般財源			370		-	211 1,789	312 6.038		474 5,895			
	人件費合計 正職員 工際員以及			1,836 1,836	1,089 1,089		1,789	6,038		5,895			
			W-S-	1,030	7		1,/02			3,033			
		一一一一一一	最以外	'n	, -		. 0		0	n I			
			战員以外 第業費集計済分)	0 (0)		0	Ŭ		0 (0)	(0)			
人	正耳	(事		0 (0) 0.25	0.1	0 (0)	0 (0) 0.25		0 (0) 0.85	0 (0) 0.83			
		(事	第業費集計済分) (人)	(0)		0 (0)	(0)		(0)	(0)			

市民の市政への参画を促進するなど、市民と協働によるまちづくりが求められる中、市民参画の手続きの透明性を高めるため平成19年に市民参画条例を制定した。

現状の周辺環境

辺

環 境 市民の市政への参画を促進するなど、市民と協働によるまちづくりが求められている。

今後の予想される周辺環境

今後も、市民と協働によるまちづくりが不可欠であり、市民の市政への参画が一層、求められる。

1. 市の	評価項目	=\tau/=c				
1. 市の		評価	評価の理由			
	市の関与(税金支出)		市民参画条例に基づき、市民参画を推進した。より多くの市民参画が図れるよう、推進や啓発			
一つ 宝経	事業の目的(対象・意図)	Α	に取り組んでいく必要がある。			
	事業の目標(活動指標等)	В				
4. 計画	の実施状況	Α	市民参画条例に基づき、庁内の研修や啓発に取り組んだ。市民参画推進審議会の意見を参			
5. 目標	(活動指標等)の達成度	A	考にして、さらなる向上に取り組む必要がある。 			
6. 上位	上位施策への貢献度					
7. 事業	成果の向上へのさらなる取組る	} B				
効 8. コスト削減へのさらなる取組み			市民参画推進審議会からの市民参画の推進に関する意見を参考に、事業の充実や見直しに			
9. 類似	業との統合・代替の検討 A		取り組む。			
10. 2	れまでの実施手段	В				
市民参画推進審議会からの答申を参考にして、各課と			携して市民参画を図ることで、市政への関心を高め、市民と協働によるまちづくりを推進していく。			
Δ						
'`						
	- M	<i>与</i> 左士中乡事批准	審議会から提出される市民参画の推進に関する意見を参考に、事業の改善に努めるとともに、職			
1	2.事務 3.事務 4.計画 5.目標 6.上位 7.事業 8.コス 9.類似 10.ご	2. 事務事業の目的(対象・意図) 3. 事務事業の目標(活動指標等) 4. 計画の実施状況 5. 目標(活動指標等)の達成度 6. 上位施策への貢献度 7. 事業成果の向上へのさらなる取組み 8. コスト削減へのさらなる取組み 9. 類似事業との統合・代替の検討 10. これまでの実施手段 市民参画推進審議会からの答申を参	2. 事務事業の目的(対象・意図) A 3. 事務事業の目標(活動指標等) B 4. 計画の実施状況 A 5. 目標(活動指標等)の達成度 A 6. 上位施策への貢献度 B 7. 事業成果の向上へのさらなる取組み B 8. コスト削減へのさらなる取組み A 9. 類似事業との統合・代替の検討 A 10. これまでの実施手段 B 市民参画推進審議会からの答申を参考にして、各課と連邦			

維持 成果方向性 成果維持 改 コスト維持 コスト方向性 革

員研修会等を通じて市民参画を有効に運用できる人材育成を図るよう努める。

改革効果(どのような効果が期待できるか)

市民の市政への関心を高め、協働によるまちづくりを推進できる。